

令和6年度中期計画進捗状況に対する所見（素案）からの主な修正箇所一覧

No.	大項目 該当箇所	所見（素案）の文章	修正案	備考
1	主な所見	【東京都立大学】 アントレプレナーシップ教育を推進するため、正規の授業科目として「アントレプレナーシップ入門」を新規開講するとともに、都立大初の学内ビジネスアイデアコンテスト等のイベントを開催するなど、起業家的な精神と資質・能力を備えた人材を育成する取組を進めている。 【東京都立産業技術高等専門学校】 学生の課外活動に対し、教員や外部指導員による専門的な指導などの支援を積極的に行うことで、ディープラーニングコンテストで最優秀賞を獲得するなど、複数のコンテストで成果を上げており、学生生活が活性化している。	【東京都立大学】 正規の授業科目として「アントレプレナーシップ入門」を新規開講するとともに、都立大初 of 学内ビジネスアイデアコンテスト等のイベントを開催するなど、起業家的な精神と資質・能力を備えた人材を育成する取組を進めている。 【東京都立産業技術高等専門学校】 高専の実践的技術教育を生かした学生の課外活動に対し、教員や外部指導員による専門的な指導等の支援を積極的に行うことで、ディープラーニングコンテストで最優秀賞を獲得するなど、複数のコンテストで成果を上げており、学生生活が活性化されている。	事業内容に対応した表現の修正
2	総括	今後、AI 活用の進展や人口減少、国際情勢の不確実性の高まりなど法人を取り巻く環境が変化し続ける中、都立の高等教育機関としての役割を一層発揮していくためには、法人自らの経営管理として、計画の達成に向けた具体的ステップを明確にしつつ、社会経済の動向や実績の推移を的確に捉えて、目標の見直しにも機動的に取り組んでいくことが望まれる。	今後、AI 活用の進展や人口減少、国際情勢の不確実性の高まりなど法人を取り巻く環境が変化し続ける中、都立の高等教育機関としての役割を一層発揮していくためには、法人が自らの経営管理において、中期計画の達成に向けて具体的ステップを明確にしつつ、社会経済の動向や実績の推移を的確に捉えて、柔軟かつ機動的に意思決定を行っていくことが望まれる。	第3回分科会の審議を踏まえた修正
3	大項目2	◎優れた点・特色ある点 ・プレミアム・カレッジでは、募集人員の約3倍の出願者数を確保するとともに、公開イベントやそのオンライン配信にも多くの参加者を集めており、そのプログラムに魅力があることが示されている。今後、募集人員の拡大や、修了生の活躍を示す取組、公開イベント動画のアーカイブの拡充など生涯学習機会の更なる充実に向けた取組が期待される。	◎優れた点・特色ある点 ・プレミアム・カレッジでは、募集人員の約3倍の出願者数を確保するとともに、公開イベントやそのオンライン配信にも多くの参加者を集めており、プログラムに魅力があることが示されている。今後、実績を踏まえた募集人員の検討や、修了生の活躍に関する情報発信、公開イベント動画のアーカイブの拡充など更なる取組の充実が期待される。	事業内容に対応した表現の修正
4	大項目3	◎優れた点・特色ある点 ・国際金融人材育成特別プログラムについて、新たに国際証券投資と資産運用に関する科目等を先行開講するなど、令和7年度からの正式開設に向けて着実な準備が進んでいる。毎年の新規履修者を10人以上とすることが評価指標とされているが、より多くの新規履修者を獲得するなど成果が期待される。 ・医療人材リーダーの育成について、令和8年度のプログラム開講に向け準備を着実に進めているが、令和7年度における履修生の募集を皮切りに本格稼働の成功が期待される。	◎優れた点・特色ある点 ・国際金融人材育成特別プログラムについて、新たに国際証券投資と資産運用に関する科目等を先行開講するなど、令和7年度からの正式開設に向けて着実な準備が進んでいる。多くの新規履修者を獲得するなどの成果が期待される。 ・医療人材リーダーの育成について、令和8年度のプログラム開講に向けた準備を着実に進めており、本格稼働の成功が期待される。	事業内容に対応した表現の修正

		◇改善・充実を求める点 ・数理・データサイエンス副専攻コースについて、新規履修者を増加させているが、令和7年度の修了者数は26人と評価指標の毎年40人には届かない見込みとなっており、履修継続の難しさの要因分析を行い、支援の充実など対策を講じることが望まれる。	◇改善・充実を求める点 ・数理・データサイエンス副専攻コースについて、新規履修者を増加させているが、令和7年度以降の修了者を毎年40名以上とするという評価指標の達成に向け、履修継続への支援の充実など対策を講じることが望まれる。	
5	大項目5	◎優れた点・特色ある点 ・学生の健康診断について、実施日程を令和5年度までの6月から4月に変更することで、受診率が約1割向上するなど、学生が受診しやすい環境を整えている。	◎優れた点・特色ある点 ・学生の健康診断について、実施日程を令和5年度までの6月から4月に変更することで、受診率が約1割向上するなど、学生が受診しやすい環境を整えている。今後、全学生に対する適切な健康管理を目指して、更なる受診率改善に向けた一層の工夫を行うことが期待される。	事業内容に対応した表現の修正
6	大項目7	◎優れた点・特色ある点 ・テニユアトラック制度について、制度導入後初めて1件の利用実績を出すとともに、同制度の利用を促進するための制度上の見直しを実施するなど、意欲的な取組が行われている。今後、 <u>制度の適用者が、期間の定めない雇用を行う他大学に流れてしまう可能性があることも念頭に置いて、柔軟に運用していくことが期待される。</u> ◇改善・充実を求める点 ・世界的に活躍するトップ研究者をコアとした研究体制について、 <u>6年間で2件以上形成するという評価指標の達成に向けて、研究センター等において最先端の研究実施に取り組んでいるが、更なる施策の検討が望まれる。</u>	◎優れた点・特色ある点 ・テニユアトラック制度について、制度導入後初めて1件の利用実績を出すとともに、同制度の利用を促進するための制度上の見直しを実施するなど、意欲的な取組が行われている。今後、 <u>戦略的な制度の運用が期待される。</u> ◇改善・充実を求める点 ・世界的な研究拠点の形成を目指し、研究センター等において最先端の研究に取り組んでいるが、 <u>トップ研究者をコアとした研究体制を6年間で2件以上形成するという評価指標の達成に向けて、更なる施策の検討が望まれる。</u>	事業内容に対応した表現の修正
7	大項目9	◎優れた点・特色ある点 ・PBL(Project Based Learning)型教育やディプロマ・サブプリメントの改善に教職協働で取り組むなど、教育システムの運用改善が全学的に進められている。今後、改善内容をレベルに応じて数値化して検証するなど、 <u>質的な面からも取組の充実を図っていくことが望まれる。</u>	◎優れた点・特色ある点 ・PBL(Project Based Learning)型教育やディプロマ・サブプリメントの改善に教職協働で取り組むなど、教育システムの運用改善が全学的に進められている。今後、改善内容をレベルに応じて数値化して <u>質的な面から</u> 検証するなど、取組の充実を図っていくことが期待される。	事業内容に対応した表現の修正
8	大項目14	◇改善・充実を求める点 ・ <u>荒川キャンパスの施設を活用した社会貢献の取組について、地元企業と連携した保護者向け講演会に60人以上が参加したことが報告されているが、実績や今後の取組予定をより具体的に示しながら取り組むことが望まれる。</u>	◎優れた点・特色ある点 ・地元企業と連携した保護者向け講演会を開催し、60名以上の参加者を集めるなど、 <u>荒川キャンパスの施設を活用した外部交流等を積極的に行っている。</u>	事業内容に対応した表現の修正
9	大項目15	◇改善・充実を求める点 ・荒川キャンパスにおけるリカレント講座について、講座の夜間開講、時間短縮などの改善を図っているが、令和6年度は4講座の開講にとどまっており、ターゲット層に合わせて講座の精選を行うなど、 <u>更なる取組が望まれる。</u>	◇改善・充実を求める点 ・荒川キャンパスにおけるリカレント講座について、講座の夜間開講、時間短縮などの改善を図っているが、令和6年度は4講座の開講に止まっており、ターゲット層に合わせて講座の精選を行うなど、 <u>持続可能な形で社会人のスキルアップ支援の充実に取り組むことが望まれる。</u>	第3回分科会の審議を踏まえた修正

10	大項目 20	◎優れた点・特色ある点 ・組織横断的な検討体制について、法人部門及び2大学1高専の中心となる部長級職員を構成員とする部長連絡会を毎月開催し、幅広い視点から意見交換や情報共有等を行うことで、2大学1高専の連携を一層促進させている。今後、各校の戦略的な連携によるシナジー価値創出をアジェンダに設定するなどなど、会議運営の工夫により有意性を高めながら、継続実施されることが期待される。また、議論を活性化させるため、若手の意見を集約する場を設けるなど、組織横断的な検討をより一層促進させる取組の実施も期待される。	◎優れた点・特色ある点 ・組織横断的な検討体制について、法人部門及び2大学1高専の中心となる部長級職員を構成員とする部長連絡会を毎月開催し、幅広い視点から意見交換や情報共有等を行うことで、2大学1高専の連携を一層促進させている。今後、各校の戦略的な連携によるシナジー価値創出をテーマに設定するなど、会議運営を工夫しながら継続実施するとともに、その成果を明らかにしていくことが期待される。また、議論を活性化させるため、若手の意見を集約する場を設けるなど、組織横断的な検討をより一層促進させる取組の実施も期待される。	第3回分科会の審議を踏まえた修正
11	大項目 21	◇改善・充実を求める点 ・都立大の女性教員については、教員数・比率ともに令和5年度比で微減となっている。女性教員を対象とした採用枠を創設するための学長裁量枠の見直しを行うなど、比率向上に取り組んでいるが、今後、評価指標の達成に向けて、課題の分析と対策を明確にして取り組むことが望まれる。また、女性の活躍推進を行う上では、育休取得率向上等の男性の働きやすさも重要であるため、男性の働きやすさに着目した施策についても検討するなど、更なる取組の充実が期待される。	◇改善・充実を求める点 ・都立大において、女性教員採用枠を創設するための学長裁量枠の見直しを行うなど、比率向上に取り組んでいるが、今後、評価指標の達成に向けて、課題の分析と対策を明確にして取り組むことが望まれる。また、女性の活躍推進を行う上では、男性の育休取得率向上等、男性の働きやすさに着目した施策についても検討するなど、更なる取組の充実が期待される。	第3回分科会の審議を踏まえた修正
12	大項目 24	◇改善・充実を求める点 ・中期計画の進捗管理の実効性を高めるために、現状認識や取組の方向性も含めて実績や取組予定をより具体的に示しながら、計画達成のための「自己管理ツール」として、大学法人自らの事業の進捗管理に一層活用し、運営していくことが望まれる。また、中期計画進捗状況の報告に当たって、年度ごとの特色を明確にするなど、より分かりやすい報告書の作成に向けて工夫しながら、法人経営に関する説明責任を一層果たしていくことが望まれる。	◇改善・充実を求める点 ・中期計画の進捗管理の仕組みについて、実効性を高めるために、現状認識や取組の方向性も含めて実績や取組予定をより具体的に示しながら、計画達成のための「自己管理ツール」として、一層活用していくことが望まれる。また、中期計画進捗状況の報告に当たって、年度ごとの特色を明確にするなど、より分かりやすい報告書の作成に向けて工夫しながら、法人経営に関する説明責任を一層果たしていくことが望まれる。	事業内容に対応した表現の修正
13	大項目 25	◎優れた点・特色ある点 ・CO2排出量削減率が、東京都環境確保条例で定める削減義務率を上回るなど、順調な成果を上げている。今後、学生を巻き込んだCO2排出量削減に向けた活動についても実績や取組予定を示しながら推進することが期待される。	◎優れた点・特色ある点 ・CO2排出量削減率が、東京都環境確保条例で定める削減義務率を上回るなど、順調な成果を上げている。今後、学生とも協働しながらCO2排出量削減に向けた活動を持続的に推進することが期待される。	第3回分科会の審議を踏まえた修正